

## 【公開文書】

臨床研究「分娩時第4度会陰裂傷に対する縫合術：当院における手術と周術期管理の工夫」について

筑波大学附属病院消化器外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

会陰裂傷とは分娩時母体損傷の1つである。中でも第4度会陰裂傷とは外肛門括約筋、直腸膈中隔に加え、肛門粘膜や直腸粘膜の損傷を伴う裂傷であり、最も重症である。第4度会陰裂傷は頻度が低く症例を経験する機会は少ないが、将来的に排便機能障害をきたす可能性があり十分な注意が必要である。しかしながら第4度会陰裂傷は症例の集積に乏しいため、適切な縫合方法について確立されておらず、消化器外科医のなかでも十分に熟達していない領域である。当院では第4度会陰裂傷症例に対して排便障害を減ずる目的に、会陰の形成を意識した縫合手技を行っている。

当院での第4度会陰裂傷の症例を後ろ向きに検討する。術後排便障害の有無を調査し当院での縫合方法の有効性を検証する。

### ② 研究対象者

2015年12月から2017年5月までの当院にて分娩時第4度会陰裂傷を加療された患者さん

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年12月31日

### ④ 研究の方法

筑波大学附属病院の電子カルテを用いて調査を行う。術後排便障害の有無を調査し当院での縫合方法の有効性を検証する。

### ⑤ 試料・情報の項目

手術記録、手術所見、術後排便状態をカルテベースで検討する。

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

なし

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学消化器外科 講師 榎本剛史

### ⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学消化器外科 講師 大原佑介

### ⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### ⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学消化器外科 講師 大原佑介

電話 029-853-3221 平日 9～17 時

Fax 029-853-3222

Mail [y.ohara@md.tsukuba.ac.jp](mailto:y.ohara@md.tsukuba.ac.jp)